

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

教養が欠如している人は世界で成功できない 鎌田 浩毅 (京都大学大学院教授)

- 「いき」を支えるのは日本の理想主義的な道徳と宗教である。そして江戸文化の「いき」は、媚態 (色っぽさ)、意気地 (欲望に支配されない心の強さ)、諦め (未練のない恬淡とした心持ち) という三つのキーワードで説明できる。「意気地」は「いき」の重要な要素であり、ここには「武士道の理想が生きている」。「武士は食わねど高楊枝」の精神や「宵越しの銭は持たぬ」生き方は、「いき」なのである。「いき」は野暮の反対でもある。自我や欲求をぐっと押えて利害を表に出さないところに「いき」がある。
- かつて私は、京都の旧家出身で、数々のビジネスを東京で成功させた人と会ったことがある。彼は肩書きを一切省いた。まさに「いき」な名刺を私にくれた。バブルに翻弄される人々を嘆きつつ「ビジネスにおける品と粋について本を出さなければ」と静かに語っていた。「いき」な生き方とは程遠い人々が、昨今の経済的混乱を生んだからである。
- 日本は資源を持たぬ国である。そこに住むわれわれが、世界の市場で認められるには、人間的な総合力で渡り合わなければならない。世界のビジネスパーソンと仕事をするときに最後に信頼を得るのは、自分の持つ教養力なのである。人として信用されなければ、ビジネスにも深入りしてもらえないからである。教養が欠如していたのでは世界の第一線で成功できないのだ。

(参考:「週刊東洋経済」2010年4月24日号)

経営者のための経営学

「ものづくり経営学」の本質

藤本 隆宏 (東京大学教授)

- ものづくり経営学が日本から世界へ発信可能か否かは、「ものづくり」というやまと言葉が持つ力と独自性に拠る。「ものづくり」とは単に「ものをつくること」ではなく「ものにつくり込むこと」である。何をかといえば設計者の意図、つまり設計情報を、である。「ものづくり」概念を実態に即し解釈すれば、ものではなく設計に着目する広義の「ものづくり」概念に行き着く。
- すなわち「ものづくり」とは、人工物で顧客を喜ばせ、自らも利益を得る活動である。言い換えれば、「良い設計とその「良い流れ」で社会に貢献し、経済成果を得る活動だ。設計情報の流れ全体に着目する「広義のものづくり」では、開発・生産・購買・販売が協働して「良い流れ」に貢献することが、良い経営の必須条件となる。設計情報の発信、つまり販売も不可欠な要素だ。

(参考:日本経済新聞社「これからの経営学」:日経ビジネス文庫)

ワンポイント経営アドバイス

社員を動かす経営者の語り方

- 業績不振から脱却するためには、地味なコスト削減に対して社員が前向きな気持ちで積極的に取り組む必要がある。そこで、社員を動かし社員が進んでムダを取ることのできる経営者の話し方には、次の7つのルールがある。
 - ① 気になることがあったら、すぐに問いかける
 - ② 押し付けず、社員の声に耳を傾ける
 - ③ 問いかけを重ねる
 - ④ 数字に落とし込んで問題をわかりやすくする
 - ⑤ 常に原価を意識させる
 - ⑥ 判断基準を示しながら伝える
 - ⑦ 小さな変化を見逃さない

(参考:「日経トッパーリーダー」2010年6月号)

古典に学ぶ

「修身教授録」・語録 50 選 (その 6)

1. 学問とは、現実の生きた道理を明らかにすること。
2. 人生の真のスタートは、この「人生二度なし」の真理をいかに深く痛感するかということから、始まる。
3. 人間の魂に自覚の光を点ずる……これ教育の道。
4. 天下第一等の師につきてこそ、人間も真に生き甲斐ありというべし。
5. 「二宮翁夜話」は、われわれ日本国民の「論語」といってよい。

(参考:森 信三「修身教授録抄」:致知出版社)